

KAKUICHI



主力製品：スチール製のガレージ、
農業・企業用倉庫

○本社所在地：長野県東御市

○事業概要：スチール製のガレージ、農業・企業用倉庫の製造

○常時使用する従業員：79名

(2025年11月時点)

○現在の売上高：39億円

(2025年11月期)

○法人番号：1100001010730

○Web：https://www.kaku-ichi.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
田中 離有

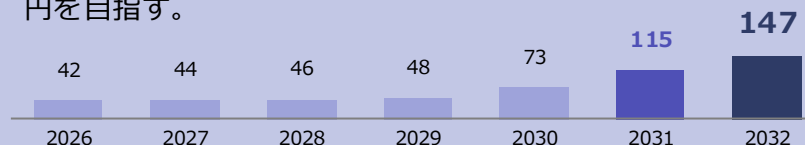
プレハブ建築の製造業として、日本の産業基盤を支える

当社は、スチール製のガレージ、農業・企業用倉庫で培った規格化のノウハウと工場生産体制を武器に、企業やプロ農家に必要な施設を短工期・適正価格・高品質で届け、日本の生産・農業・エネルギーを支える。そのために、東御工場の生産性・生産能力を高めて既存需要に応え、構造設計技術の開発と協力工場の開拓を進め、200～699㎡の倉庫・工場、豚舎・ソーラーシェアリングへ事業を広げる。こうした事業拡大を支えるため、「経営が語る、経営と現場が議論する、現場が仮説検証する、期限を定める、結果を共有する」という「経営が育つ循環」を定着させ、組織を育て、2032年に売上高147億円を目指す。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

生産性向上・省力化に向けた設備投資と事業領域の拡大により、2031年に売上高100億円を達成し、2032年には147億円を目指す。



課題

- ・既存需要に応えるための生産性向上と、年間を通じた安定的な生産体制の確立
- ・200～699㎡の倉庫・工場分野への進出に向けた、構造設計技術の開発と生産体制の整備
- ・豚舎・ソーラーシェアリング等の新市場での事業化と、協力工場と連携した生産体制の確立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・自動化・省力化設備の導入と生産管理DXにより、生産性を高め、プレハブ建築の生産量を拡大
- ・柱を鋼板から成形する自社工法により、鋼材由来のCO2排出を抑えた建築物を普及させる
- ・200～699㎡の倉庫・工場、豚舎・ソーラーシェアリング等の新市場に向けた商品開発と販路開拓を進める
- ・大学との共同研究を核に構造設計技術確立し、協力工場での生産にも生かせる中核技術を自社に蓄積

実施体制

- ・現場から挙がる課題や改善提案を起点に、経営層と社内の関係部門が共に議論し、重点課題と方針を明確にする。代表取締役もプロジェクトに参画し、各部門・各担当者の役割を明確にしたうえで、全社一丸となってプロジェクトを推進する。
- ・大学、研究機関、スタートアップベンチャーなど、多様なノウハウを持つ社外パートナーとの協業体制を確立
- ・自社の構造設計技術と協力工場の生産力を組み合わせ、協力工場の開拓と連携により生産能力を拡大